

Lions

年報 No.12 2001.6



蒲郡マリンライオンズクラブ

目 次

スローガン・モットー・ライオンズの誓い	1
役員一年間の回顧	2~3
次期役員の抱負	4~5
リジョン役員の回顧と抱負	6
副会長一年間の回顧	7
アクティビティー一覧	8
委員会報告〈委員長の感想〉	9~15
例会活動報告	16~27
趣味部会活動報告	28~30
新入会員紹介・退会会員	31~33
役員・委員会組織	34~35
事務局日誌	36~41
会員年間出席表	42~47
編集後記	48





2000～2001

GAMAGORI MARINE LIONS CLUB

◆スローガン・モットー・ライオンズの誓い◆

スローガン

Liberty, Intelligence, Our Nations Safety

(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

モットー

We Serve

(われわれは奉仕する)

2000～2001年スローガン

334 複合地区

若人とともに 築こう新世紀

334-A 地区

高めよう品格 広げよう奉仕と友情の輪

蒲郡マリンライオンズクラブ

高めよう クラブのクォリティ

ライオンズの誓い

われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、
平和と自由を守り、社会奉仕に精進する



私の人生の1ページ

会長

L 加藤 寿則

我が蒲郡マリンLCのスローガン「高めようクラブのクオリティ」を旗揚げして、一年が無事過ぎました。偏に幹事はじめ役員の方々、そしてクラブメンバーの皆様に厚くお礼を申し上げます。有難う御座いました。

品格あるメンバーに、品格あるアクティビティと思い頑張ってきました。振り返って見ると、遣り残した感があり、反省に耐えません。8月の第2例会は修正出席率100%を達成して先行きに大変希望を持ち、出席委員会の期待も大きかったけれど、1回だけで非常に残念でした。1年間通しての皆出席率は当クラブの最高人数でした。

世の中の低迷する今日、会員の増強は大変無理に思われますが、10数名の推薦者の提出で数名の会員入会に協力して下さった方に蒲郡マリンLCのアワードとして感謝状の贈呈を行いました。会員方々には、委員会、理事会、例会と順を追って出席すれば必然とクラブの流れが理解でき、良いアクティビティにもつながり、出席率の向上にもなると思います。事務処理のOA化、クラブのホームページの開局は、理事会で侃々諤々と論議し、時間を忘れた事もありました。実現の第1歩も出来なかったことが心残りです。私の力不足の一言にすぎません。深く反省をしています。新入会員獲得の意義は、組織の中へ潤滑油を注ぎ、クラブ内の活性化を図り、地域社会への奉仕にも変化をもたらすということです。新会員はアイデア、意見、友情と新鮮さがあるから、会員増強に力を入れなければクラブ内が沈滞化する事でしょう。新入会員の入会後の育成は会員全員が関心を持ち会員維持の努力が必要です。

- ・地域社会に質の良い奉仕をと思います。
- ・金銭奉仕のマンネリズム、労力奉仕は逃げ腰になり易い、命の奉仕は？
- ・会員も減り金銭の余裕もないので、肉体を使った奉仕、ウォッチング、環境の美化、献腎献眼を地域社会の方々と協力することが大切でしょう。

反省と希望を綴ってみました。いろいろ役を務め、会長を終わって「WE SERVE」を少し理解できたかなと思います。会員の皆様も少しだけ会長になろうと思う気持ちでライオンズを理解して頂きたいと思います。一年間、長い間ご協力を賜り私の人生の一ページに大きな実のある「ライオンズ」を下さいまして有難うございました。



一年間を振り返って

幹事

L 小田 倉平

幹事と言う大役を仰せつかって、あっという間に一年が過ぎました。クラブスローガン「高めよう クラブのクオリティ」をテーマに船出した本年度でしたが、勉強不足の私にとっては苦痛の連続でした。それでも加藤会長をはじめ役員、メンバーの皆様方の御支援により大過なく務めさせていただきましたことを深く感謝致しております。

多くの事業に参加させていただきました。夏の「夏期家族会」を初め、十月の「六施設ふれあい運動会」又、十一月の「市民文化講演会」、十二月の「クリスマス家族会」など多くの事業に各委員会の方々が積極的に進めていただき、素晴らしい成果をあげる事ができました。

昨今の経済不況により入会者の減少、又、休会者、退会者の増加が日を追って多くなっていくように思われます。会員の獲得にはメンバー全員で考えていかなければと思います。

この一年間、会員の皆様方の御協力に感謝申し上げます。



ご挨拶

次期会長

市川 寛

この度、蒲郡マリンライオンズクラブ13代会長を勤めさせていただく事になり、いよいよ出航の時が来ました。希望とその責任の重さに毎日が心のひきしめる思いで一杯です。先輩ライオンの多くの奉仕を通じて当クラブも地域に根を下してまいりました。次年のクラブスローガンは、「地域にとけこむ 楽しい奉仕」としました。友愛を分かち合えるメンバーと共に日常生活、個人だけでは享受できないクラブライフを楽しみ、私達の許容の範囲(予算的・時間的・労働的)で地域の人々に理解が得られる楽しい奉仕活動を目指し、尚かつ目的達成の充足感をメンバー全員が味わえる一年にしたいと思っております。残念ながら現在会員数は78名と数年前には考えられない位減少しておりますが、裏を返せば今おられる会員の方々は真に社会奉仕活動に理解のある、それこそ“*We Serve*”の方々ではないかと思っております。現在の会員の方々を礎に、この一年更に発展させるよう努力致しますので皆様のご協力を賜りますよう宜しくお願い致します。



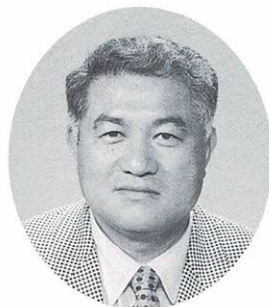
ご挨拶

次期幹事

L 伴 捷文

幹事役を受けることになり、戸惑いを感じています。大変な役目で皆様に迷惑をかけることがないだろうかと、不安な気持ちではありますが、自分なりに精一杯やるしかないと言いつ聞かせているところです。

ライオンズクラブに入って、いろいろな業種、いろいろな方々にお会いし、多くの事を学び、私に無い、私の気が付かない事を教えられ、気が付き、それだけでもこのライオンズクラブに在籍させて頂いている価値があるのだろうと思われまふ。沢山の友達が出来た事をうれしく思ひ、そういう仲間だからこそ、この機会に頑張りたいと思ひます。よろしくご指導ご協力お願いいたします。



ご挨拶

次期会計

L 榊原 幸博

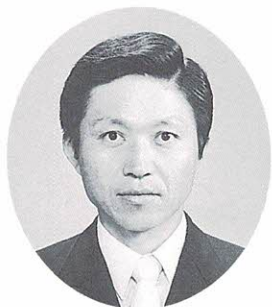
今年同様、会計の任務を仰せつかり、大変責任を感じております。

当クラブでは、総て、お金の出し入れは、事務局の方で処理して頂けますので、月一回お金の出入を確認し、責任の重さを感じながら、書類に目を通しております。

ここ一年で、未熟ながら、少しずつ、クラブの運営が分りかけたような気が致しますが、まだまだ力不足の事ばかりで、皆様のご指導があつてこそと、深く感謝致しております。

次年度も、本年度の経験を少しでも活かしながら、任務を全うする所存でございます。

今後共、宜しくお願い申し上げます。

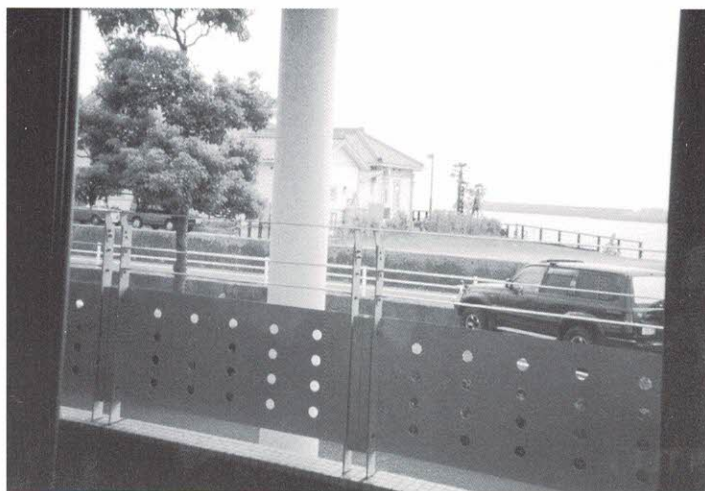


2R 四献推進委員を受けるに当り

次期 R 四献推進委員

L 夏目 憲行

今年一年間は副委員として、豊橋ちぎり LC の原瀬委員の下で一緒に行動をさせていただき、大体の内容は理解したつもりですが、いざ R 委員として務まるか不安の思いが先走ります。今年は 1 ゾーン、2 ゾーンの三役と他の R 委員の皆様と友達になり、又、R 委員の厳しさ、重大さを身をもって経験させてもらいました。次年度の目標としては、本年度登録者が無しだった、骨髄移植のドナー登録者を一人でも多く出す事、成分献血者が今年は会員・一般を合わせて 500 人でしたが、次年度は 2 倍の 1000 人を目標に 2R の各クラブにお願いしたいと思います。もう一年、体を張った命の奉仕活動が可能な 2R 四献推進委員として、頑張りたいと思います。



例会場より蒲郡港を眺む



第二副会長として

第二副会長

L 味岡 正

指名委員より推薦をうけて、本年は第二副会長を務める事になりました。

L加藤会長の方針「高めようクラブのクオリティ」にそって、担当委員会で、目標を実行することが大切です。

出席委員会(委員長L近藤綾子)においては、出席へのアピールとメイクアップを、事務局で委員が交替でお待ちして、受けました。修正100%になった時もありました。一年間皆出席も本年は14名と、過去最高となりました。会員相互の連携と強調の成果でした。

青少年指導市民教育奉仕委員会では、L青山傳重郎委員長のリーダーシップによって文化講演会を開催することが出来ました。永六輔氏を講師にお迎えし、「親と子」の身近なテーマと親しみのある語り口が好評で聴衆から感動の言葉が聞ける程で大変盛況でした。ビラ貼りに、会場整備に、会員一同団結して市民の皆様に心よりの奉仕が出来ました。



ご 挨 拶

第三副会長

L 平野 優

一年間、ありがとうございました。

第10代、河井 勤会長の時、当時会則付則委員長であった私は、クラブ内規を見直しておりました。そして、一部改訂をいたしました。その中で重要な条項は、第二章 役員のところ、第6条、第7条で特に第7条ただし書きで、第三副会長の役務終了後はその役務を繰り上げることでした。昨今、第三副会長の廃止が叫ばれています。しかし、あえて当クラブは第三副会長に役割をあて、継続的に役員とし活動しクラブの運営・事業・各委員会を一通り担当し、委員会に対する知識を得る必要があるとの意見でした。まさか、自分がその第三副会長になるとは思いませんでした。第三副会長の責務を果たしたかどうか分かりませんが、不足していた所は、又第二副会長と努力いたしますので、よろしくお願いいたします。